

## THE SUN WILL SHINE TOMORROW

Barbara McGeever

### イントロダクション (1-4)

- 3 & 4 3小節目の3、4拍目と4小節目の1拍目はリットのため指揮を分割します。  
1-4: 1小節目のpから2小節目のmpに続き、3、4小節目で下降しながらのデクレッシェンドに注目。

### ブリッジ (5-8)

- 5-8: ミドルのマレットは、メロディーがはっきり聞こえるように軽く打ちます。低音では交互のLV、R、LV、Rに注意。  
5 & 6: この2小節のフレーズでは、C6 (C7?) に向かってわずかに膨らみます。  
7 & 8: 次のフレーズ2では、最初のフレーズに呼応するようにC6 (C7?) への不恨みを作りますが、より静かなレベルです。

### (9-24)

- 9-12: ミドルのマレットを軽く続けます。  
10: クレッシェンド/デクレッシェンドのダイナミクスに注目してください。  
12: 小さなクレッシェンドに注目してください。  
13-16: ト音記号の上下のラインとヘ音記号の上部ラインはメロディーと対旋律です。  
14: 13小節目から続きます。クレッシェンドは13小節目3拍目から始まります。  
15: sub pに注目してください。RTを明確にし、マルテラートは体に近づけて短く軽く打ってください。  
16: クレッシェンドに気をつけてください。  
17-24: 4声部に分かれます。各声部のリズムを確認してください。それぞれの正確なリズムを理解するために、パートごとや一緒に鳴らす練習をしてください。  
18 & 20 各小節の最初の八分休符は、ヘ音記号の上部パートにつながります。  
23: RTとマルテラートは短く演奏してください。マレットがないグループは最低音をブラックしてください。4拍目のC4はマレットではなくマルテラートで演奏してください。  
24: すべてリング。  
21-24: 徐々にクレッシェンドし、フォルテが最も大きなダイナミクスとなります。

### コーラス (25-34)

- 25-29: #とbに注意。25のBb、26のBb、27のB#とG#、28のG#とBb、29のBb、Eb、Ab、すべて30小節目でナチュラルに戻ります。  
26: ミドルのマルテラートを強調。  
28 & 34: マルテラートとマレットは正確にリズムを刻んでください。  
29 & 30: 4拍目はエコー。  
32: 急がないようにマルテラートとマレットのリズムを安定させます。マルテラートはテーブルから均等の距離でベルを持って鳴らします。  
34: C4とC5をマルテラート。C3をマレットまたはブラックし、最後の和音では、ト音記号の下向きのすべての音をマルテラートします。  
32-34: 曲のタイトル「The Sun will Shine Tomorrow」は、32小節目の最後のアウトタクトから34小節目1拍目裏までのト音記号の上向きのラインで現れます。  
34: ヘ音記号の4拍目(C4)はマルテラートで、下向きのすべての音は休符です。

### ブリッジ (35-38)

- 35-36: ト音記号の下向きの音符(メロディ)をmfからfまでクレッシェンドします。  
37-38: 前のフレーズに呼応するようにメロディをmpからmfまでクレッシェンド。

### ヴァース (39-46)

- 39: mp に気をつけてください。
- 40: 小さなクレッシェンド/ディミヌエンドに注目してください。
- 43 & 44: マルテラートをしっかりと強調してください。
- 45: sub mp とし、46 小節目に向かって大きくクレッシェンドします。リズムは急がないように注意してください。

#### コーラスの繰り返し (25 - 34)

コード (47 - 54) ※ダイナミクスとリット的位置を変更しました。

- 47 - 54: sub p で始まり、51 小節目 1 拍目のフォルテまで徐々にクレッシェンドします。47 (p)、49 (mp)、50 (mf)、51 (f)。のように。51 小節目からは、楽譜の通りにディクレッシェンドします。ト音記号の上側の 16 分音符が崩れないように。
- 51: リットの始まりの位置を 52 小節目の 1 拍目に移します。
- 47 & 49: ト音記号の最初の 4 分音符は 1 拍目から始まります。
- 47 - 51: 各パートを別々に、また一緒に演奏するなどして、リズムを正確につかみます。
- 50: マルテラートリフトは E4 と A4 のみ。ピチカート効果を生み出します。
- 51 - 53: マルテラートは Eb4 と Ab4 で、ピチカート効果を生み出します。
- 54: 休止記号 (カエスーラ) に気をつけてください。音を完全に消します。ここで指揮をしっかりと見てください。

問い (55 - 70) 懇願するように

- 57 - 69: 68 小節目以外で、LV はその小節のすべての音に適用されます。チャイムは LV ではありません。
- 59 - 70: チャイムでメロディを鳴らします。このメロディーは、絶望にある人たちが助けを求めて歌っていると想像してください。

問いの例: 59 - 60 聞いてください

- 61 - 62 私たちの言葉が聞こえますか？
- 63 - 64 私たちを見てください
- 65 - 66 あなたの力なしではできません。
- 67 聞いてくれますか？
- 67 - 68 見えますか？
- 69 - 70 私を選んでくれますか？

- 68: ト音記号のベルでフレーズのクレッシェンド/ディミヌエンドを表現します。
- 69: 最初からリットを始め、4 拍目の裏の 8 分音符はフェルマータです。69 小節目の 3 拍目と 4 拍目は指揮を分割します。ディクレッシェンドに気をつけます。
- 69 & 70: フェルマータで指揮を見てください。

答え (71 - 76)

- 答えの例: 71 - 72 寂しい人たち
- 73 - 74 はい、聞こえます
- 74 - 76 一緒に
- 74 - 75 この世界をより強く
- 75 - 76 より明るくしましょう

- 71 - 74: チャイムが出る直前の 8 分休符に気をつけてください。
- 75: LV はすべての音に適用されます。
- 76: すべての音をリングします。

(77 & 78 小節目) 変革の推進力

- 77 & 78: 指揮者を見てください。77 小節目の 3 拍目からテンポとダイナミクスが大きく変化します。
- 78: 79 小節目の冒頭での転調に備えます。

ヴァース (79 – 86)

メッセージ: 人類の健康を改善するために共に働く挑戦を受け入れよう。変化をもたらそう！  
エネルギーを最後まで保ちますが、スピードを上げないでください。

テンポは 4 分音符 = 125 に変更。

79 – 94: 5 オクターブのグループは、トップの音をオクターブ加えてください。

84: 84 小節目の終わりの 8 分音符の D6 の音は、85 小節目の 1 拍目で消します。

コーラス (87 – 97)

88 & 90: マルテラートは ff で均等に。

91 & 92: ト音記号とヘ音記号のすべての 2 分音符の音は、4 拍目でエコーします。

94 & 97: マルテラートとマレットは力強くしっかりと。

94 – 97: エネルギーにあふれ希望をもってしっかりと、「The Sun will Shine Tomorrow！」と歌います。

97: 3 拍目の RT は正確に。4 拍目ですべての音をしっかりと止めてください。

スマイル！